

お客様と共に地域の明日を作りつづける信用金庫をめざして

東京東信用金庫 理事長 相野 隆

近年、地域経済は厳しい環境が続いている。ネット通販が普及して、既存の流通企業は変革を迫られており、製造業においても、これまでの中心であった自動車産業において、ガソリンエンジンから電気自動車へのシフトや運転の自動化技術の影響もあって構造的变化が起きようとしています。インターネットの普及やIT技術の高度化の影響が、経済の末端にまで浸透してきているといえるでしょう。

東京東信用金庫ではこれまで、東京海洋大学、芝浦工業大学などの大学や墨田区などの行政機関等と連携して、地域中小企業の皆様の問題解決に積極的に貢献する活動に取り組んできました。東京の城東地域を中心に、千葉県北西部や埼玉県南部までを営業区域とし、68店舗7出張所のネットワークを通じてお客様との絆を深めつつ地域経済の明日を創る活動を地道に続けております。

千葉商科大学との間においても、ビジネスや中小企業経営に強い同大学の特色を生かした取り組みを進めています。このCUC中小企業マネジメントスクールはこれまで、本金庫の優良取引先企業を含む優れた中小企業経営の実践例を積極的に紹介することで、地域経済の担い手である中小企業の経営基盤の強化に貢献しております。高く評価いたしております。

2018年度においては、「デジタル社会とアナログ経営」と題して、ネット社会の中で中小企業が直面する大きな課題の解決策を積極的に模索しようという意欲的なテーマを設定しており大変期待が持てます。皆様がこのCUC中小企業マネジメントスクールを受講されて、不確実な未来を乗り越えて発展されることを願っております。

中小企業マネジメントスクール受講で経営を革新しよう！

(株)市川ビル社長 田平和精(千葉商大生々塾会長)

市内企業の社長である私は、縁あって2001年以来17年間、当社幹部や友人と共にCUC中小企業マネジメントスクールを受講し続け、学びの実践で経営革新を果たし、地域優良企業となるまでに成長中です。我が国では、品質面の差別化が出来ない商品・サービスの提供者が価格決定の主導権を喪失し、デフレスパイラルに陥っている企業が少なくないようです。

登壇講師は、皆様方と業種は異なるものの、①小規模でも価格競争に陥らない黄金律に従って、着実な成長と収益を上げている ②人と組織のイノベーションを絶やさず、周囲から感謝・信頼・尊敬され存在価値を高めている理念・実績共に元気な企業経営者です。その講演を聞き自社に役立つ教訓を得て日常経営に適用・実践し、計画～実行～統制のサイクルの輪を回し続ける事が、経営成功の必勝の方程式と考えます。

千葉商大生々塾は、1997年、本スクール開講直後に発足した受講生で構成する自主組織です。その組織理念は『自栄・社栄・学栄・国栄・人栄』で、自分が成長し、会社が良くなり、大学に報恩し、国家と人類の繁栄に役立つことです。受講生有志企業からの支援の下、講義終了後に居酒屋で講師を囲んだ懇親会が開かれ、お互いのプラス・エネルギーを交換・増幅させる事ができますが、この費用を含め8回の講義＋懇親会で25,000円の受講料は、多分、日本一費用対効果が高い経営スクールと自負しております。

懇親会は異業種交流会の侧面もあり、毎回全員が「一口コメント」により、質問、感想、自社の宣伝、悩み等を語り合える『人生道場』『ビジネス・マッチングの場』もあります。本年度、私共と一緒に学び切磋琢磨してお互いの経営品質を高め、利益を上げ納税する事で内部留保を厚くし、社会貢献できる企業に成長しましょう。

今年、貴方・貴女と一緒に高め合える事を、楽しみにお待ち致しております。

□主催／千葉商科大学 □協力／生々塾(本スクール修了生の経営学習会)

□後援／市川市・江戸川区・千葉県中小企業家同友会・東京東信用金庫・千葉県経営者協会・市川商工会議所

□CUC中小企業マネジメントスクールは、次の企業様からご支援・ご協力をいただいております。

(株)市川ビル、(株)加藤新聞舗、山崎製パン(株)、(株)アービック、(株)ヒカリシステム、(株)ヒロハマ、京葉瓦斯(株)、(株)市川環境エンジニアリング、松瀬キャリア教育研究所、(株)京葉銀行、(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行(順不同)

<千葉商科大学へのアクセス>

●JR総武線「市川駅」下車：徒歩約20分

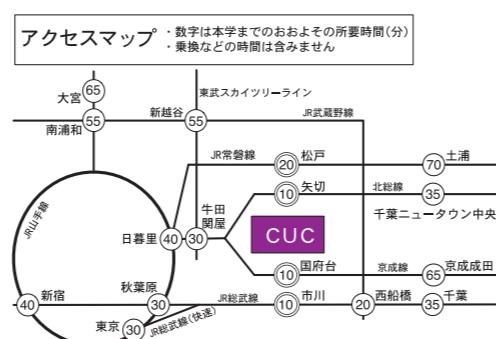
(バス利用は、駅前京成バス1番乗り場から松戸駅行または
松戸営業所行に乗車約10分「和洋女子大前」下車：徒歩約3分)

●京成線「国府台駅」下車：徒歩約10分

●北総線「矢切駅」下車：徒歩約20分

(バス利用は、駅前京成バス乗り場から市川駅行に乗車約10分、
「和洋女子大前」下車：徒歩約3分)

●JR常磐線「松戸駅」下車：京成バス3番のりばから市川駅行に乗車約20分
「和洋女子大学前」下車：徒歩3分



募集要項 2018

CUC中小企業 マネジメントスクール



デジタル社会と アナログ経営

経営革新を推進するセミナー 受講生募集

CUC中小企業マネジメントスクールは、1997年創立の歴史と実績ある経営スクールです。

90th

CUC 千葉商科大学

CUC中小企業マネジメントスクール



デジタル社会におけるアナログ経営

前地域連携推進センター長 鈴木孝男

インターネットやスマートホンなどの急速な普及と利用の拡大によって、企業がおかれている環境は大きく変化しています。企業活動においても、パソコンを使って作成された文書や統計データなどのデジタル化された情報が大量に出回り、連絡も電話からメールやSNSなどデジタル化された情報伝達方法に変わってきました。一方、口頭での会話や言語を用いないコミュニケーションの機会は希薄になっています。

こうしたデジタル化された情報の伝達になれば、パソコン上で作成される情報のみが流通し、社員間の情報交換においてもメールが中心になって直接口頭などで情報を伝えることは少なくなる傾向にあります。

しかし、こうした環境は人間関係に様々な歪みを生じさせる可能性があります。人の顔を見ずにもっぱらディスプレイだけで「会話」する、文書によるコミュニケーションが中心になって、人間関係や組織内部の意思疎通がギクシャクする、社員同士の考え方バラバラだなどの弊害が生じてはいませんか。

企業の中にはこうした問題にいち早く気づいて、何らかの取り組みを行っているところがあります。IT企業の中に社員食堂を持っている例が見られるというのも、社員の福利厚生の一環ということだけでなく、コミュニケーションの貴重な場として食事を考えていることのあらわれと見ることができます。一部の企業においては、高度成長期のように、社歌、社員旅行、社員食堂、運動会などを行うところが出てきています。中小企業経営においても、こうしたコミュニケーション問題を積極的に捉えて、社員相互の関係や取引先、顧客との関係をスムーズに保つことができるような取り組みが求められています。

今回の中小企業マネジメントスクールにおいては、こうした問題に積極的に取り組んでいる企業を中心にお話を伺うことにしております。皆様のご参加をお待ちしております。

2018年度 募集要項

[I] 勉強会 15:00～17:00

[II] 異業種交流会 17:30～19:00

※自由参加/飲食付(年間受講生は無料)

■定 員………50名(最少実施人員20名)

■受 講 料………25,000円 単発での参加も可(但し、受講料5,000円/1回)

■会 場………千葉商科大学(裏面アクセス参照)

■申込締切日………2018年5月12日(土)

■申込方法………FAXまたは大学Webページ「CUC中小企業マネジメントスクール」
お申込みフォームからお申込みください。以下の図をご参照ください。

■お問い合わせ(平日9:00～17:00)

千葉商科大学 地域連携推進センター 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1
Tel: 047-320-8667 Fax: 047-373-9958 E-mail: cucr@cuc.ac.jp http://www.cuc.ac.jp/

お申込みの流れ

[受講申込み方法] =FAXまたは大学Webページからお申込みください=

1. FAXから「CUC中小企業マネジメントスクール申込み」と明記の上、次の内容を箇条書きにしてお申込みください。お申込み人数分の①氏名②ご職業(勤務先名・所属・役職名)③連絡先(住所・FAX・TEL)
2. 大学Web「CUC中小企業マネジメントスクール」お申込みフォームから必要事項をご記入の上、お申込みください。

【申込後の事務連絡】

1. FAXから申込み→開講が決定したら、連絡先FAX宛に開講決定通知を送信します。
2. Web申込み→自動的に申込受付通知メールが届きます。
→開講が決定したら、メールで開講決定通知を送信します。

■お申込みに際してお寄せいただいた個人情報は、本講座に関する事務連絡以外の目的には使用いたしません。

■お越しの際は公共交通機関をご利用ください。



「デジタル社会とアナログ経営」2018年度 講義概要

「デジタル社会とアナログ経営」とは

コンピュータによる情報交換が当たり前になっている現代社会において、人間同士の直接的な接触の重要性が増しております。そのことの意義について第1回の講義の前に簡単に説明します。

前地域連携推進センター長 鈴木孝男

第1回
5月12日
土曜日

「行徳伝統の神輿づくりを守るための挑戦」

(有)中台製作所／代表取締役 中臺洋

行徳の神輿づくりは江戸時代から製塩業(塩田)と共に盛んに行われてきました。最盛期3軒あった神輿屋も後継者不足や時代の変化により歴史と伝統ある神輿屋2軒が廃業し、現在では弊社1軒となりました。父より受け継ぎ5代目として、現代の神輿屋(職人の技)の価値を高めるために新たな取り組みで挑戦し続けている現状と今後の展望についてお話をさせていただきます。

第3回
7月14日
土曜日

「これからの人材定着の鍵 ワークライフバランスの取り組み」

株式会社トーリツ／代表取締役 鈴木恵里子

昭和60年創業、介護事業を展開しています。この業界は女性が主力です。女性が働く上で「仕事と家庭の両立」を図るには様々な困難が生じます。子育てや親の介護など…。

個々の職員に困難さが生じるたびに仕事を続けられるよう工夫をしてきました。その成果が認められ、平成21年、25年、28年に東京都ライフ・ワーク・バランス認定企業に認定されています。3部門認定されているのは弊社だけ。弊社の取り組みや今後の展望について紹介させていただきます。

第5回
10月13日
土曜日

「信用組合とは、 小規模金融機関の取り組み」

真岡信用組合／常務理事 豊田光弘

信用組合ブランドスローガン
「ちかくにいるから、チカラになれる」

信用組合は、中小・小規模事業者、地域・業域・職域の生活者である組合員に対して、きめ細かな訪問活動と人の温もりを大切にした親身な相談活動を通じて組合員と共に歩み続ける身近な協同組合金融機関であることをお話をさせていただきます。

第7回
12月15日
土曜日

「全社員戦力化の一丸経営を目指して Life And Family

株式会社ライフィー／代表取締役 澤田努

2000年設立、総合保険代理店の株式会社ライフィー。顧客への情報提供を目的としたWEBサイト経由で、約60社の保険会社の商品を販売。

当社は歩合給制が多い保険業界で、売上ノルマ無し・残業休日出勤無し・完全固定給で、ライフワークバランスを重視。経営理念を基に社員教育を重視し全社員戦力化の一丸経営を目指しています。

第2回
6月9日
土曜日

「製法に賭けた信念」

株式会社ヒロカワ製靴／代表取締役 廣川雅一

下町の靴メーカーが、創立54年を迎えるまでに至った歴史を語りたいと思います。

靴は「生活の道具である」を信念に、自社ブランド「スコットグレイン」を自社一貫生産と材料にこだわり、丈夫な靴、履きやすい靴を追求してきました。また、天然皮革という材料を無駄にしないことで、レギュラー品とアウトレット品の双方を活かす生産体制を作り上げ、今後はさらなる接客サービスの向上を目標に進めて行きたいと考えております。

第4回
9月8日
土曜日

「道徳的な言葉でごまかすな！」

~問われる「経営者の姿勢」と
「社会性・人間性・科学性のバランス」~

(株)ヒロハマ／代表取締役会長 広浜泰久

業務用一斗缶部品の総合部品メーカーとして、全国No.1のシェアを持つ(株)ヒロハマ。「缶の社会貢献を全面的に支援する」という経営理念のもと、オリジナル商品を生み出し業界リーダーの地位を確立しています。しかし、かつては激しい労使紛争も経験した同社。納期遅れが毎日何十件も発生し、長年にわたり業界2位の地位に甘んじていました。その状態から、どのようにして今の姿になってきたのかをお話しされます。

第6回
11月10日
土曜日

「経営計画を推進するためのマネジメント」

株式会社諏訪商店／代表取締役 諏訪寿一

1. 会社の未来を描く経営計画
2. 仲間とともに経営計画を実践する=行動計画
3. P D C Aを実践する
4. 行動計画を評価する

第8回
1月12日
土曜日

「人を生かす【数値】の活用とは」

株式会社オオクシ／代表取締役 大串哲史

千葉県内を中心に6ブランド47店舗の理美容室を直営店で展開しております。

平成22年独自のPOSシステムの徹底したデータ管理で「中小企業IT経営力大賞2010」にて「経済産業大臣賞」を受賞しました。しかし数値は使い方を間違うと大変です。人を動かすのは「情」、数値の役割は「羅針盤」です。コンビニエンストアの5倍と言われていますオーバーストアの中15年連続2ケタ成長してきた数値と情の経営のお話を致します。

■CUC中小企業マネジメントスクールは、企業や組織のマネジメントに携わる経営者・実務家、起業を志す学生・社会人に向けた商系大学の専門性とネットワークによる中小企業経営の革新と創造的リーダーを育成するセミナーです。